



## 初等部だより 3月号

鎌倉女子大学初等部  
令和7年2月28日  
第12号

### 平和で安全な日を送るために

部長 目崎 淳

立春を過ぎ、暦の上では春が訪れましたが、まだまだ厳しい寒さが続き、春の暖かさの訪れが待ち遠しい3月を間もなく迎えます。

14年前となる平成23年3月11日午後2時46分、東日本大震災が発生しました。当時の私は4年生の担任をしており、(現在と時程が異なるのですが)子どもたちと清掃活動をしていました。教室の机やイスを運んだり、バケツに水を汲んで運んだりしている最中に大きな揺れを感じました。床に置いたバケツの水が半分以上こぼれてしまうほどでした。子どもたちは揺れが収まるまで座り込んでしまいました。廊下の窓から見えるプール棟のガラスが割れてしまうのではないかと心配したことも覚えています。(幸いなことに、ガラスは割れなかったと思います。)その後には余震が何度も発生し、停電になり、寒さの中を過ごしたことなど、あの光景は今もなお記憶に残っています。そして、震源に近い地域では、このあたりとは比べものにならないほどの被害がありました。経験したことのない建物の倒壊や津波などによって集落や町、多くの命が失われました。現在も様々な方々によって少しずつ復興が進んでいると言われていますが、完全復興にはまだ多くの時間がかかると考えられて



【 奇跡の一本松 】

います。

この頃、社会科担当であった私は、県内私立小学校の先生方と震災を伝える授業研究に取り組んでいました。研修会では新聞記者を招き、当時の報道の状況などをお聞きし、震災を伝える授業実践やその意義を問いかけていました。こうした流れの中で、被災地の今をしっかりとみて子どもたちに伝えることが大切であると強く感じ、実際に自分の目で見た事柄を授業で紹介したこともありました。

初等部では地震や火災を想定した避難訓練を年3回実施して、児童一人一人の意識と対応力を育てています。ここ最近も関東地方でも地震が発生しており、今後も地震の発生が予測されています。ご家庭におかれましても、機会をみてお子様に家庭での安全対策についてお話していただければと思います。

さて、3月14日(金)はいよいよ卒業式です。卒業式は、小学校学習指導要領によると儀式的行事に位置付けられ、その内容は「**学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること**」となっており、指導方針として、「**厳粛な雰囲気の中にも、明るい希望に満ちたものとなるようにする**」となっています。卒業式は、6年生にとって小学生最後の授業となります。松本講堂は「厳粛」で「清新」な雰囲気や気分を味わうには最適な場所だと思います。卒業式まで残り半月、素晴らしい卒業式になるよう「感謝のこころ」を大切にしつつ、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

保護者の皆様には、本年度も初等部の教育活動にご理解とご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。